

一川野下宿所、改善ニハ充分注意ニテ
實行スヘキモ當工場ノ寄宿舎ニアラサ
ルヲ以テ期待ニ副フ能ハサル矣テラノ
モ其邊ハ諦承アリタレ

右、提案ニ對リ諦承アラン事ヲ望若
シ万一部分タリトモ不同意ヲ表明
セラル、場合ニハ當工場ハ全部ニ對リ
實施ノ責任ヲ負ハサルモノト諦承アリ
タレ

タレ

以上

大正十一年八月八日
参考本提案書ハ異議ニ職工側ニ於テ
取下タル嘆願書各項ニ對スルモノナルカ如レ
而レテ職工側ハ左回答ニ對スル態度ヲ決
ス可ク七日夜集合ニタル長柄橋附近
ノ淀川堤下ニ再ヒ約百名余集会ニ先
毛所轄柴島分署ヨリノ注意ニ依リ
場所ヲ變更シ山本逸郎宅(監督新田幸五郎)
タレ

=約五十名參集種々協議ヲ凝ニタルカ
席上三輪八郎兵衛池田菊松等外十
數名ハ依然硬論ヲ持リ參協ノ不可ナル
ナルヲ主張シテ歎ム一方山本逸郎久
江久藏等ハ目下業界不況ノ折ニ久
不均會社ハ翁令、讓歩ヲナシタルモノ
ナレハ此際積極的態度ヲ持タルハ不利
益ナリ他日又再起ノ機會モアル可シトテ
甲論ひ駁容易ニ决セサリシモ結局可否
擧手ニ問ヒタルニ會社回答ヲ詫密客否
スヘシトナスモノ約三十五名ナリシテ
硬派モ不貯得之ヲ承諾シ將來益々
結束ヲ鞏固ナラムト共ニ本回答ハ明九
日代表者ヲ以テ會社ニ通告スヘウ申
合セ午後十時無事散會シタ
越ヘテ本九日午前十一時驛ニ側代
山本逸郎久江久藏橋井竹松、三名